別表１　　　　　　　　　　　耐風診断調査票（一次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 | | | | |
| 一次診断者 | 所属名 |  | | | | |
| 診断者名 |  | | | | |
| 所在地 |  | | | | |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： | | | | |
| 評価依頼者 | 氏名 | 様　　　　　　連絡先： | | | | |
| 建築物の概要等（ヒアリング） | 所在地 |  | | | | |
| 竣工時期 | 築年数　　　年 | | 竣工時期　　　西暦　　　年 | | □不明 |
| 増築有無 | □無　□有　増築部築年数　　　　年　　　概要： | | | | |
| 階数 | □平屋 | □2階建 | | 屋根勾配：□６寸以下　□急勾配 | |
| 屋根形状 | □寄棟　□切妻　□入母屋　□片流れ　□その他（　　　　　） | | | | |
| 屋根材 | □粘土瓦　□PC瓦　□J形　□F形　□S形  □瓦かどうか不明　□瓦以外の屋根材 | | | | |
| 屋根改修 | □無　□有　実施時期　西暦　　　年　　概要： | | | | |
| 屋根不具合 | □無　□有　□雨漏り（　　　　）　□しっくいのはがれ（　　　）  　　　　　　□その他（　　　　） | | | | |
| 屋根診断（地上からの目視等） | 全体調査 | □屋根に被害がある　□屋根に変形・歪みがある  □瓦が飛散している　□瓦が崩れている　□瓦が破損している  □瓦にずれや浮上がりがある　□接着剤の流出痕がある  □その他の破損等（　　　　） | | | | |
| 適合診断 | □上記の「全体調査」に該当する項目がある | | | | |
| □2001年より以前に施行された瓦屋根の建築物であり、屋根改修がされていない。 | | | | |
| □瓦屋根が土葺き工法だと思われる。　□瓦屋根の工法が不明 | | | | |
| □瓦屋根が非防災タイプだと思われる。□瓦屋根の種類が不明 | | | | |
| □瓦屋根の緊結方法が下図のような方法となっている。    瓦の配置が蛇行しており、留め付けがされていない可能性が高い  瓦にボルト・ビス等による緊結がない  瓦にビス・銅線等による緊結がない  瓦にビス・銅線等による緊結がない  平部がずれ  ている  緊結材が見える  袖瓦に緊結材が  見えない  軒瓦に緊結材が  見えない | | | | |
| 診断結果 | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い（上記「適合診断」に該当する項目がない）。 | | | | | |
| □耐震性・耐風性を確認するためには二次診断の実施が必要（上記「適合診断」に該当する項目が1以上ある）。 | | | | | |
| 所見 |  | | | | | |

別表１　　　　　　　　　　　耐風診断調査票（二次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 | |
| 調査担当 | 会社名・代表者 | 会社名：　　　　　　　代表者名： | |
| 所在地 |  | |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： | |
| 診断資格者名 | 氏名： | |
| 診断者の資格 | □瓦屋根診断技士　□瓦屋根工事技士　□かわらぶき技能士（1級、2級）  □建築士（1級、2級、木造）　□その他 | |
| 依頼者 | 氏名 | 様 | |
| 対象建物 | 住所 |  | |
| 瓦の種類 | □Ｊ形　□F形　□S形　□PC瓦　□その他（　　　　） | |
| □防災瓦　□非防災瓦 | |
| 構法 | □引掛け桟　□土葺き　□接着補強　□その他（　　）  □不明（　　　） | |
| 平部 | 桟瓦の留め付け | □全数　□千鳥緊結　□（　）枚おきに留め付け　□無緊結  □不明（　　　） | |
| □くぎ（1本以上）　□ねじ（1本以上）　□緊結線　□その他（　）□不明（　　）  □瓦の種類がF形かつ非防災瓦である場合、くぎ等2本以上で緊結 | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  部位：□瓦　□接合部　□瓦桟木　□下葺き材（種類：　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| 軒部 | 軒瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| けらば部 | 袖瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| 棟部 | 棟の種類・状態 | □冠瓦伏せ棟の場合 | 冠瓦の固定：□全数留め付け　□（ ）枚おきに留め付け □なし  　　　　　　□ねじ　□くぎ　□緊結線　不明（　　　） |
| □のし瓦積み棟の場合 | 大棟（ ）段　隅棟（ ）段　□下り棟（ ）段  冠瓦の固定：□ねじ　□トンボ（棟芯あり）　□トンボ（棟芯なし）　□大回し等　□なし　□不明（　　　　　）  のし瓦の固定：□緊結線（相互緊結）　□なし　□不明（　　　　） |
| 劣化状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□浮き・ズレ　□脱落　□損傷　□緊結材の切れ・浮き  　　　□しっくいの劣化　□その他（　　　　　） | |
| 谷部 | 谷部の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□瓦の浮き・ズレ・脱落　□板金の孔開　□その他（　　　　　） | |
| 改修が必要な部位★ | | □平部　□軒部　□けらば部　□棟部　□谷部　□その他（　　　） | |
| 診断結果 | | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。（上記「改修が必要な部位」がない） | |
| □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。（上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある） | |
| 所見・要望事項 | |  | |

※下線は令和２年国土交通省告示第1435号により改正（令和４年１月１日施行）された昭和46建告第109号の規定に対応する仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。

★「改修が必要な部位」が告示基準に適合する場合、原則、その部位の改修工事については補助対象外とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □屋根伏図　□その他（　　　　） | | |
| （写真を添付） | | （写真を添付） |
| 改修が必要な部位 | | 改修案 |
| □1階  □2階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）　□谷部  □その他（　　　） |  |
| □1階  □2階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）　□谷部  □その他（　　　） |